

夏のクマに注意！

梅雨の時期が過ぎて、夏はクマにとっては食物が乏しい季節ですので、ウドやフキなどの草本類やハチなど昆虫の巣を探して、広い範囲を足早に行動します。そのため、人と出会う機会も多く、人身事故につながることもあります。

これから山に出かける方は、クマの被害に遭わないよう、次のことにご注意ください。

◇朝夕は山中に入らない。

(クマは朝夕に活発に動きます。)

◇グループで行動する。

(山中では単独行動を避け、グループで声をかけあって活動し、クマに人の気配を伝えましょう。)

◇鈴、笛、ラジオなど音が出るものを携帯し、クマに自分の存在を知らせる。

(クマは聴覚や嗅覚が人より優れているため人の接近を察知し、人を避けます。)

◇子グマを見たらそっと立ち去る。

(近くには必ず母グマがいます。子グマがかわいいからと近づいたりすると、母グマは子グマの危険を感じて人を攻撃することがあります。)

◇山菜採りはほどほどに。

(ウドやウワバミソウなどの草本類、ハチ類・アリ類など昆虫を食べているものと思われま。食べ跡や足跡、糞などを見つけたら引き返しましょう。樹木にクマ剥ぎがあれば、その付近にはクマが生息していますので要注意です。)

◇不測の事態に備えて。

(注意をしてもクマと近距離で出遭う場合があります。ヘルメットを着用すると頭部の被害を軽減することが出来ます。接近するクマにはクマ撃退スプレーが効果的です。山仕事などで頻繁に入山する方は携行されることをお勧めします。)



ツキノワグマの足跡
(前足と後ろ足)



ツキノワグマの糞



クマ撃退スプレー

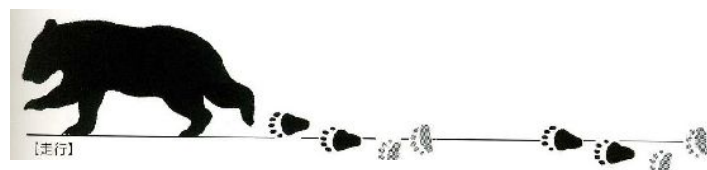
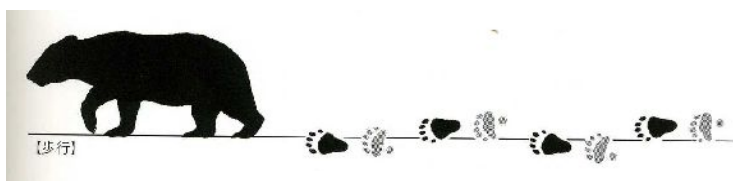


クマ剥ぎ

◆クマを目撃したり、クマの痕跡を見つけた場合は、直ちに市町村に連絡してください。

◆クマ撃退スプレーは、登山用具店で購入することができます。

～ 富 山 県 ～



【参考文献】米田一彦 (1996)「山でクマに会う方法」、米田一彦 (1998)「生かして防ぐ クマの害」

今泉忠明 (+平野めぐみ) (2004)「野生動物観察事典」